

一般質問

(4〜7ページ中段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は24人42件の一般質問がありました。

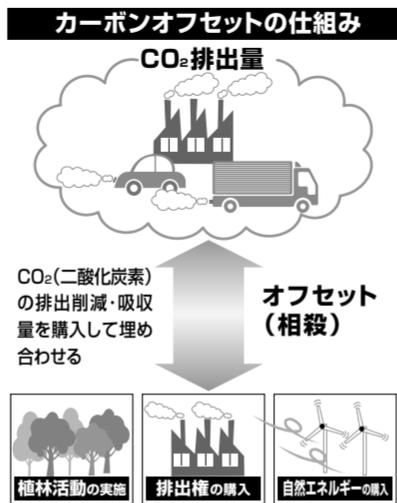
(他はその他の質問)

カーボンオフセット事業にごみ収集の手数料収入を活用する考えは

基金の創設等、市民に見える形で活用できるように検討していく

活用の様子や成果を広く示していくことが重要と考える。そこで、カーボンオフセット事業の仕組みづくりや推進に、ごみ収集の手数料収入を活用する考えは。市長 家庭ごみの有料化に伴う手数料収入については、一義的には家庭から発生したごみの収集、運搬、焼却処分等にかかわる経費の一部として使用している。

奈良崎 久和議員(公明) 平成22年2月からごみ収集方式が変更され、ごみの収集が有料となったが、有料化に伴う収入の一部を温暖化対策に積極的に活用し、市民にもその



しかし、環境政策、特に温暖化対策等に積極的に活用していくことは大変重要であると考え、ごみ有料化に伴う手数料相当額の用途については、減量効果によるごみ処理経費の状況を見極めながら、カーボンオフセット事業や循環型社会の構築にかかわる基金の創設等、市民に見える形で活用ができればよいと検討していく。

関係部門による横断的な協議の場を検討していく

一貫した発達支援体制の確立に向けた具体的な取り組み

小野寺 淳議員(市政) 発達障がいのある方への支援は、発達段階での早期発見からの取組が特に重要と聞く。乳幼児期、学齢期、成人期の各時期で、多岐に渡った相談機能や支援が求められていると思うが、市の認識は。

市長 発達障がいのある方への支援は、市福祉計画の重点施策として位置付け、乳幼児期、学齢期、成人期において、関係機関と連携を図り、必要な支援を行っている。今後もライフステージに応じた支援のため、医療、保健、福祉、

市内在住で私立小・中学校に通う児童・生徒の善行等の把握拡大は

拡大の考えはないが表彰規定等の整備を行い顕彰も検討していきたい

いるが、市内在住で私立小・中学校に通学する児童・生徒の善行等の把握についてはどのようになっているのか聞きたい。教育部長 善行等の報告は、学校教育の一層の充実を目的に、所管である市立小・中学校の児童・生徒を対象として行っているため、市内在住で私立小・中学校に通う児童・生徒についての把握は、現在行っていない。

高野 政男議員(市政) 市では、市立小・中学校の児童・生徒の善行やスポーツ、文化活動等に対し、顕彰を行っている。

四谷6丁目の墓地建設計画を市長名で都多摩府中保健所へ中止の要望をしていく

市長名で都多摩府中保健所へ中止の要望をしていく

手塚 歳久議員(市友) 四谷6丁目の墓地建設計画について、今議会で約2000人の署名による反対陳情等が出されている。このことについて、市の対応を聞きたい。都市整備部長 本市としては、

市内における墓地・墓園の造成に関する指針に基づき、原則として墓地等の新設は行わないよう意思表示をしている。同計画の情報入手直後に土地所有者や事業者等に再考を要請した。また、都多摩府中保健所に同指針の趣旨を説明し、近隣住民の意向を考慮するよう要請している。

教育、就労などの関係機関が緊密な連携を図ることが重要と認識している。

議員 一貫した発達支援体制の確立に向けた具体的な取組の考えは。

福祉保健部長 国では、発達障がいのある方への支援を盛り込んだ抜本的な制度の見直しが進められており、本市においても福祉、教育などの部門による横断的な協議の場をつくることを検討していく。

橋上化される京王線3駅に市政情報センター等の設置場所を要望する考えは

駅の利用状況が変化した場合に設置の検討が必要と考える

というところであるならば、その範囲を拡大することが大切だと思いませんか。教育部長 今回のところ、範囲の拡大は考えていないが、今後は表彰規定等の整備を行うことで、広く市内の児童・生徒の善行等を顕彰することも検討していきたい。

議員 子どもは認められることで自信をつけて大きく成長する。学校教育の一層の充実

駅の利用状況が変化した場合に設置の検討が必要と考える

市長 今後、駅の利用者が増加するなど3駅の利用状況が大きく変化した場合に、市民ニーズに合った施設の設置を検討する必要があると考える。議員 都内では、「駅ナカ」の充実により駅周辺商店が大幅な売上減と聞けが、府中駅でも「駅ナカ」店舗の増加により、駅

相原 博議員(市政) 府中駅構内にある市政情報センター



▲橋上化が進む東府中駅

消防団員への健康診断が現時点では実施の時期に

現時点では実施の時期に至っていないと考える

比留間 利蔵議員(市政) 市民のために時間を問わず非常勤特別職の地方公務員として

は、行政案内等を行うとともに、選挙時には期日前投票所として投票率の向上に寄与している。

現在、橋上化工事が進む東府中、多磨霊園、武蔵野台駅にも同様の施設の設置場所を要望する考えは。

市長 今後、駅の利用者が増加するなど3駅の利用状況が大きく変化した場合に、市民ニーズに合った施設の設置を検討する必要があると考える。



▲出初式にて

績は。人も家族も安心でき、緊急時の災害等に力を発揮できるものと考え、他市の消防団員の健康診断の実績は。

市では、消防団員への健康診断について、市が職員向けに行っている健康診断(健診)を受診することで本人も家族も安心でき、緊急時の災害等に力を発揮できるものと考え、他市の消防団員の健康診断の実績は。市街地電線地中化事業について

危険管理担当参事 26市中17市で健診を実施している。未実施の市は、本市を含め9市である。議員 消防団員への健康診断について、市の考えを聞きたい。危険管理担当参事 府中市消防団は、団本部ほか18の分団で構成され、定員420名体制で活動している。消防団員は、それぞれ会社員などの職業を持つ一方で、防災活動を行っているが、健康診断については、健康保険等に加入している職場での受診を行っている状況があり、現時点では、市が消防団員への健康診断を実施する時期に至っていないと考えている。